

# FOCUS まちの話題

※広報紙に掲載した写真は、本人や家族などに無料で差し上げます。希望される方は、秘書課秘書広報係(☎26-2216)までご連絡ください。

市では、欲しい情報を選択して受け取ったり、知りたい情報をチャット形式で調べることができる「**深川市公式LINE**」を開設しました。ぜひ友だち登録をお願いします。



市ホームページ「発信!まちのできごと」では、市内で開催されたイベントや季節ごとの風景などを紹介しています。広報紙では紹介しきれない記事や写真も掲載していますので、ぜひご覧ください。



## 6/1 保育園留学事業 MEM地区ほ場



### 関係人口創出へ 体験する本市の魅力

関係人口創出に向けた取り組みの一環として、都市部などの子育て世帯を対象に実施している「保育園留学事業」を6月1日にMEM地区ほ場で実施しました。体験には、東京・札幌から訪れた親子2組が参加し、本市に1週間ほど滞在しながらアスパラガスの収穫に挑戦したほか、あぜ道でカエルを捕まえるなど、豊かな自然と暮らしが調和する、本市ならではの魅力を存分に味わいました。今後も受け入れを進めるとともに、本市の魅力を発信し関係人口のさらなる増加につなげていきます。

## 5/24 2026緑のマルシェ 生きがい文化センター

昨年まで「スプリングフェスタ」として親しまれてきた春の恒例行事を「2026緑のマルシェ」に名称を改め、5月24日に生きがい文化センターで開催しました。このイベントは、緑化の推進や環境衛生、消費に関する意識の向上などを目的として開催しているもので、園芸市や親子トシカチ教室、木のおもちゃ体験、防災クイズなど、幅広い年代の方が楽しめるさまざまな催しを行いました。会場では花の苗の無料配布や緑日コーナーが人気を集め、訪れた市民らはイベントを大いに満喫していました。

### 多彩な催しで盛況 笑顔あふれる一日に



## 5/22 令和8年春季北海道市長会定期総会 ラ・カンパニーニューホテル深川



### 全道市長が一堂に会する 地方創生などの課題を検討

市政の円滑な運営と進展のため、国や北海道に対する要望事項の取りまとめなどを行う北海道市長会定期総会が開催されました。12年ぶりに本市で開催された総会には、全道35市の市長が出席(3市は副市長が代理出席)し、地方創生に関する決議のほか、地方行財政や保健医療福祉・農林水産業・社会基盤整備・環境関係など、国や道に対する要請案件を採択しました。また、本市で行われている「休廃施設を活用した地域経済の活性化」の取り組みについての事例発表がされました。



## 6/13 バスケットボール クリニック

6月13日、本市出身でプロバスケットボール選手の林翔太郎さんを講師に招き、バスケットボールクリニックが総合体育館で開催されました。参加した小中学生は、ドリブルやシュートなどの技術指導を受け、一流の技術を学びました。



## 6/5 消防協力者の 一般表彰

4月6日に市内で発生した車両火災において、火災を早期に発見し、初期消火により被害を最小限にとどめたことから、株式会社オカモトセルフ深川に宮内消防長が消防総合庁舎で消防協力者感謝状を贈りました。



## 5/23 深川フラワーロード 事業

地域の環境整備などを目的に、幹線道路や市街中心部を花で彩る「深川フラワーロード事業」が実施されました。この日は、深川フラワーマスターの会の会員らが参加し、花で装飾したプランターなどを国道233号線に並べ、沿線に彩りを添えていました。



## 6/18 多度志小学校 1日防災学校

学校を中心とした多度志地域の防災力向上のため、6月18日に多度志小学校で1日防災学校を開催しました。児童たちは、段ボールベッドや簡易トイレを組み立てたほか、AEDを使用した救命方法の実践など、防災に対する知識を高めていました。



## 6/5 第30回深川春秋会

本市の活性化とまちづくりの推進に寄与することを目的に、市内の官公庁や関係機関の代表者で構成する深川春秋会の第30回会議を6月5日に開催し、それぞれの活動内容について情報提供や意見交換を行いました。



## 5/18 生命の貯蓄体操の 集い

5月18日、健康で自立した生活を送りたい方などを対象に「生命の貯蓄体操の集い」を開催しました。参加者は日常生活でのストレス解消や疲労回復などに効果があるとされる呼吸法や体操を実践し、心身の整え方を学んでいました。